



統計でみる きょうとのすがた 2020

京都府政策企画部企画統計課



今日、統計は私たちの生活において
必要不可欠な存在となっています
私たちの生活を豊かにしてくれる
IoTやAIの発展とその未来は
統計を含むデータサイエンスの発展なくして
語ることはできません

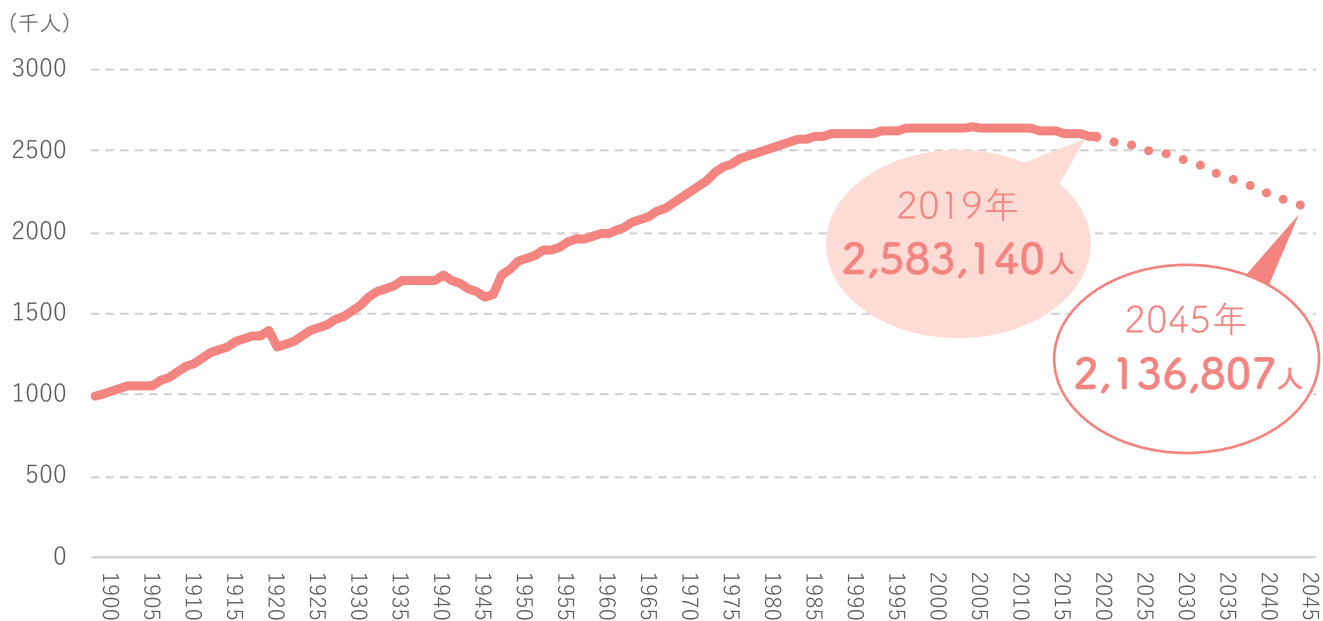
さあ、統計で「きょうと」の世界をのぞいてみましょう

👤 きょうとの人口

京都府の総人口は、令和元年10月1日時点で**2,583,140人**となっています。

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口では、京都府においても全国的な少子化の影響もあり、
2045年には2,136,807人程度になると推計されています。

図表 1：京都府の人口推移と将来推計人口



出典：京都府統計書、国勢調査（総務省）、将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

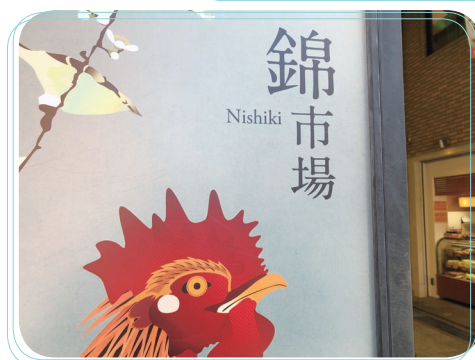
調 きょうとの産業

平成28年経済センサス活動調査の従業者数を用いて京都府の特化係数を算出し、特化している産業をみると、「**教育, 学習支援業**」が**1.81**（図表2）と全国水準よりも8割も高いことがわかります。続いて「**宿泊業, 飲食サービス業**」が**1.17**と全国水準よりも2割ほど高くなっています。

さらに、それらの産業の内訳（図表3-1及び図表3-2）をみると、「教育, 学習支援業」では「**生花・茶道教授業**」、「**大学**」等が、「宿泊業, 飲食サービス業」では、「**料亭**」、「**日本料理店**」等が全国水準を大きく上回っています。

これらの結果は、京都が、文化の街であり、学生の街であり、観光の街であることを反映しているとみられます。これらはまさにイメージ通りですが、「**お好み焼き・焼きそば・たこ焼き店**」も全国水準を大きく上回るなど、意外な結果を知ることができるのも統計の魅力です。

京都経済センター
@四条烏丸



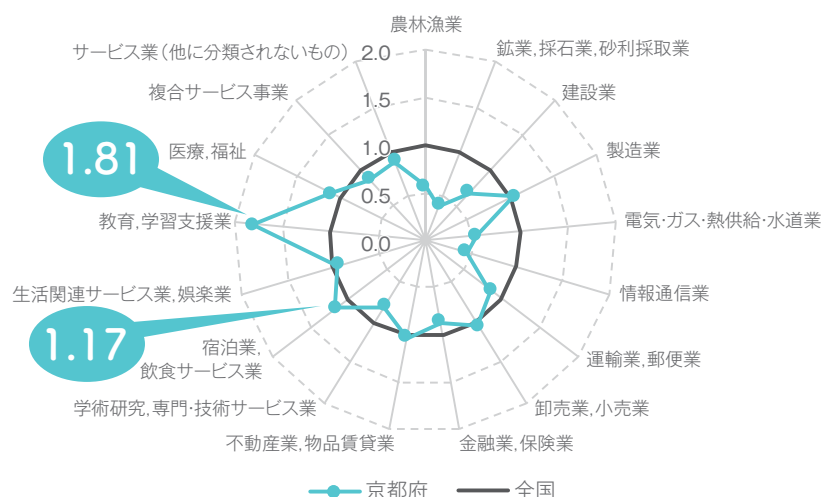
錦市場
@錦小路通

特化係数とは

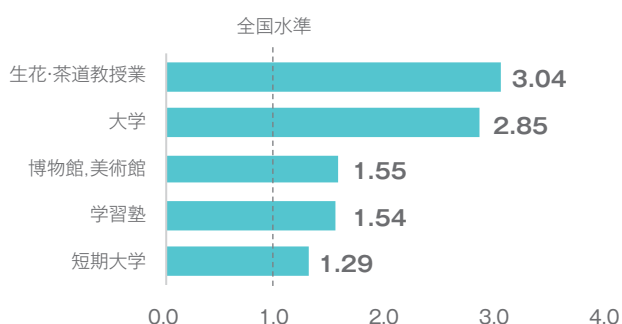
地域の特定の産業への特化度合いを測る指標。
1.0が全国水準を意味している。

$$\text{産業Aの従業者の特化係数} = \frac{\text{地域の産業Aの従業者比率}}{\text{全国の産業Aの従業者比率}}$$

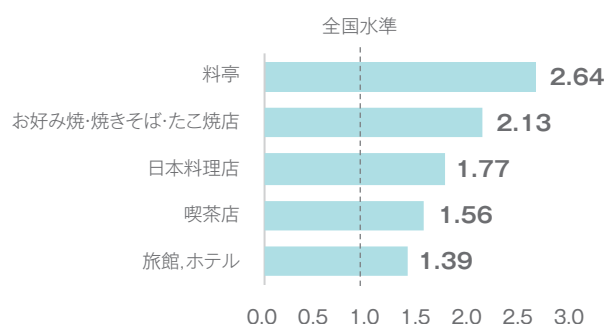
図表 2：京都府の産業大分類別特化係数



図表 3-1：教育, 学習支援業の細分類



図表 3-2：宿泊業, 飲食サービス業の細分類



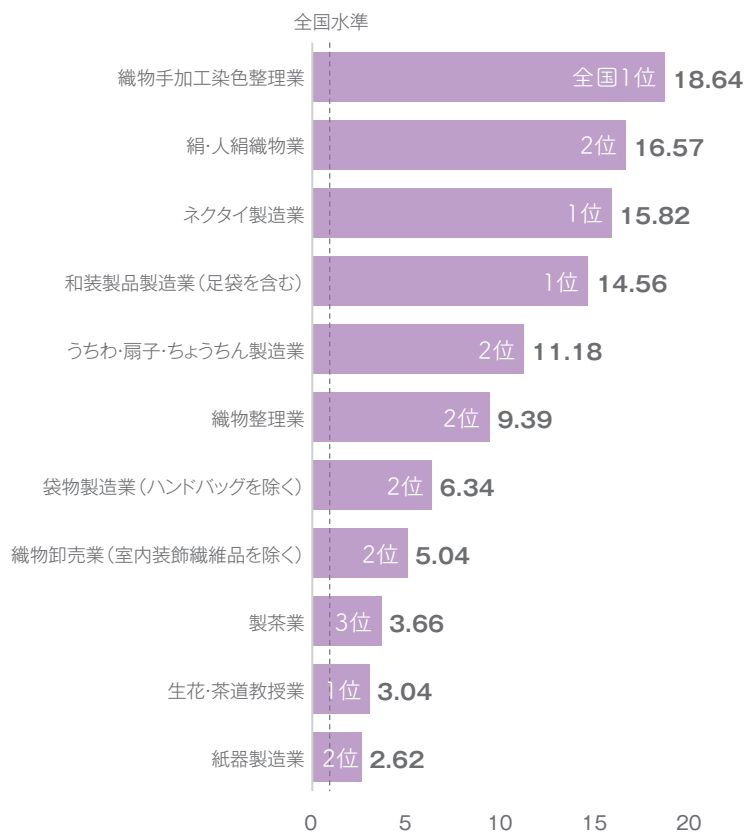
きょうとの伝統産業

京都府の伝統に関する産業について、従業者数を用いた特化係数でみると「**織物手加工染色整理業**」、「**ネクタイ製造業**」及び「**生花・茶道教授業**」が**全国1位**となっています。

和装に関する産業について、軒並み全国水準を大きく上回っており、京都府の特色を表しているといえます。織物では、府北部地域を中心とした「**丹後ちりめん**」、府南部地域を中心とした「**西陣織**」が有名です。

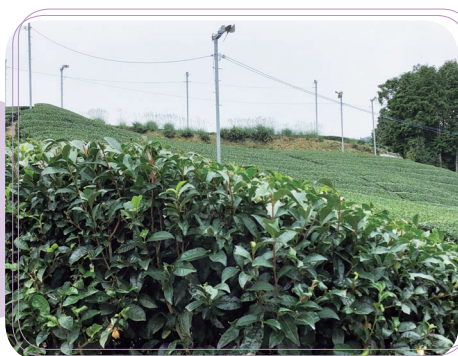
製茶業についても、静岡県、鹿児島県に次ぐ全国3位となっており、京都府の「**宇治茶**」が全国的に有名です。

図表 4：京都府の伝統産業の特化係数



出典:平成28年経済センサス活動調査(総務省)

茶畑@
和束町



キモノフォレスト
@嵐山





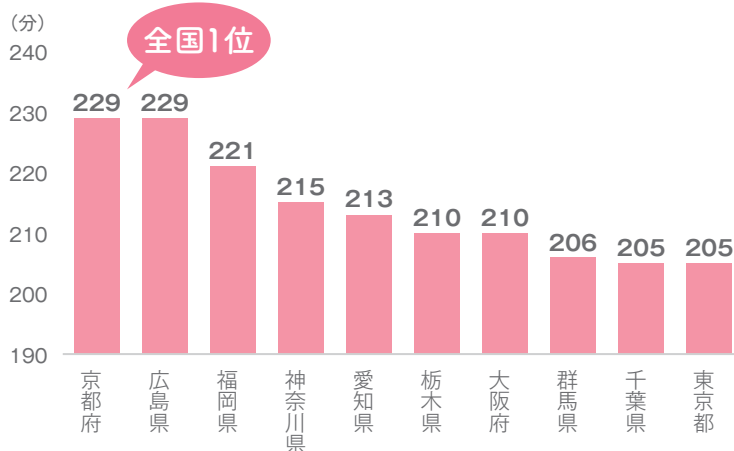
子育て世帯

社会生活基本調査の結果をみると、京都府は、**1日あたりの育児に費やす時間が全国1位**となっています(図表5)。

また、他の都道府県から京都府への子育て世帯の転入状況^{*}を見ると、0-14歳の子供は、5年間で若干の増減をしますが、**390人の純増**となっています。

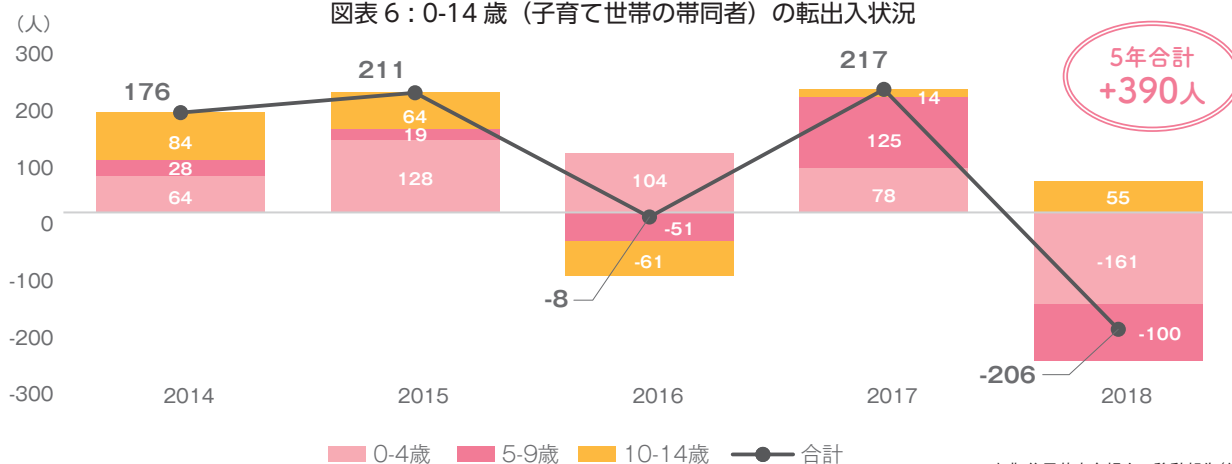
^{*}オープンデータにおいて、各年ごとの子育て世帯の転出入状況を直接把握できないため、父母と帯同して移転する0-14歳の動きに着目し、子育て世帯の転出入状況を推定しています。

図表5：1日あたりの育児に費やす時間（行動者平均時間・週全体）



出典:平成28年社会生活基本調査(総務省)

図表6：0-14歳（子育て世帯の帯同者）の転出入状況



出典:住民基本台帳人口移動報告(総務省)

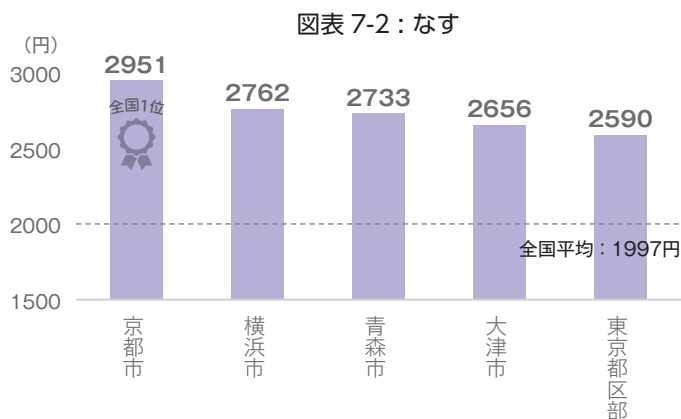
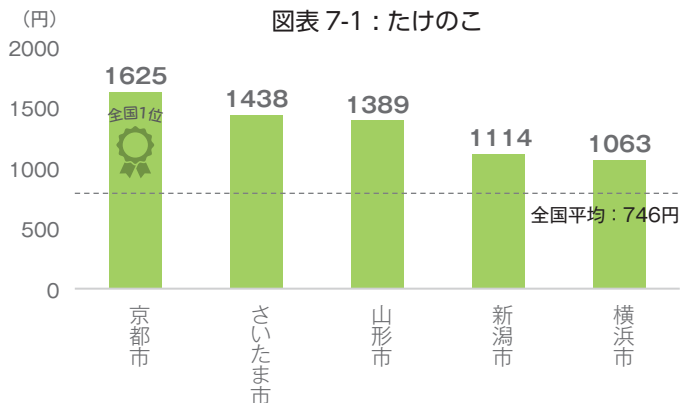
きょうとの食生活

家計調査の結果から、野菜の品目ごとの年間消費支出(京都市)をみていくと、「たけのこ」、「なす」、「ピーマン」及び「他の野菜の漬物」が**全国1位**となっています。これらの結果から、京都府民の食生活がみえてきます。

竹林
@嵐山



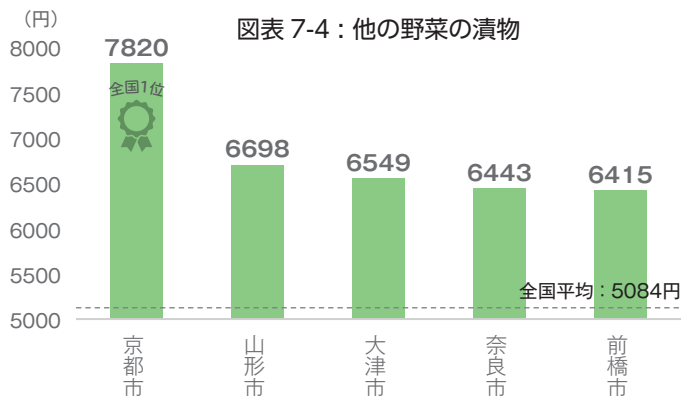
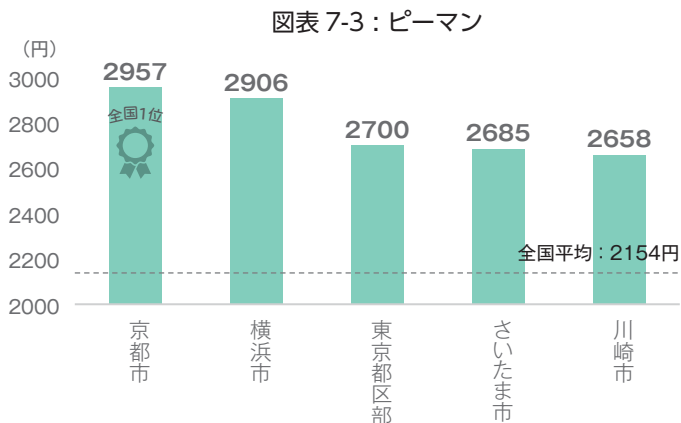
「**京たけのこ**」の主な産地は西京区、右京区、乙訓地域等です。「**白子たけのこ**」とも呼ばれ、色の白さと軟らかさが特徴です。



京の伝統野菜でもある「**賀茂なす**」が有名です。味噌田楽などにして食べると美味しいですよ。



有名な京野菜である「**万願寺とうがらし**」や「**伏見甘長とうがらし**」も、家計調査上はピーマンに含まれています。



聖護院かぶを原材料とする「**千枚漬**」、すぐきの葉とかぶらを原材料とする「**すぐき**」、なす、きゅうり等を刻み、赤しその葉を加え塩漬けにした「**しば漬**」が有名で、**京都の三大漬物**と呼ばれています。



人口増減の要因分析

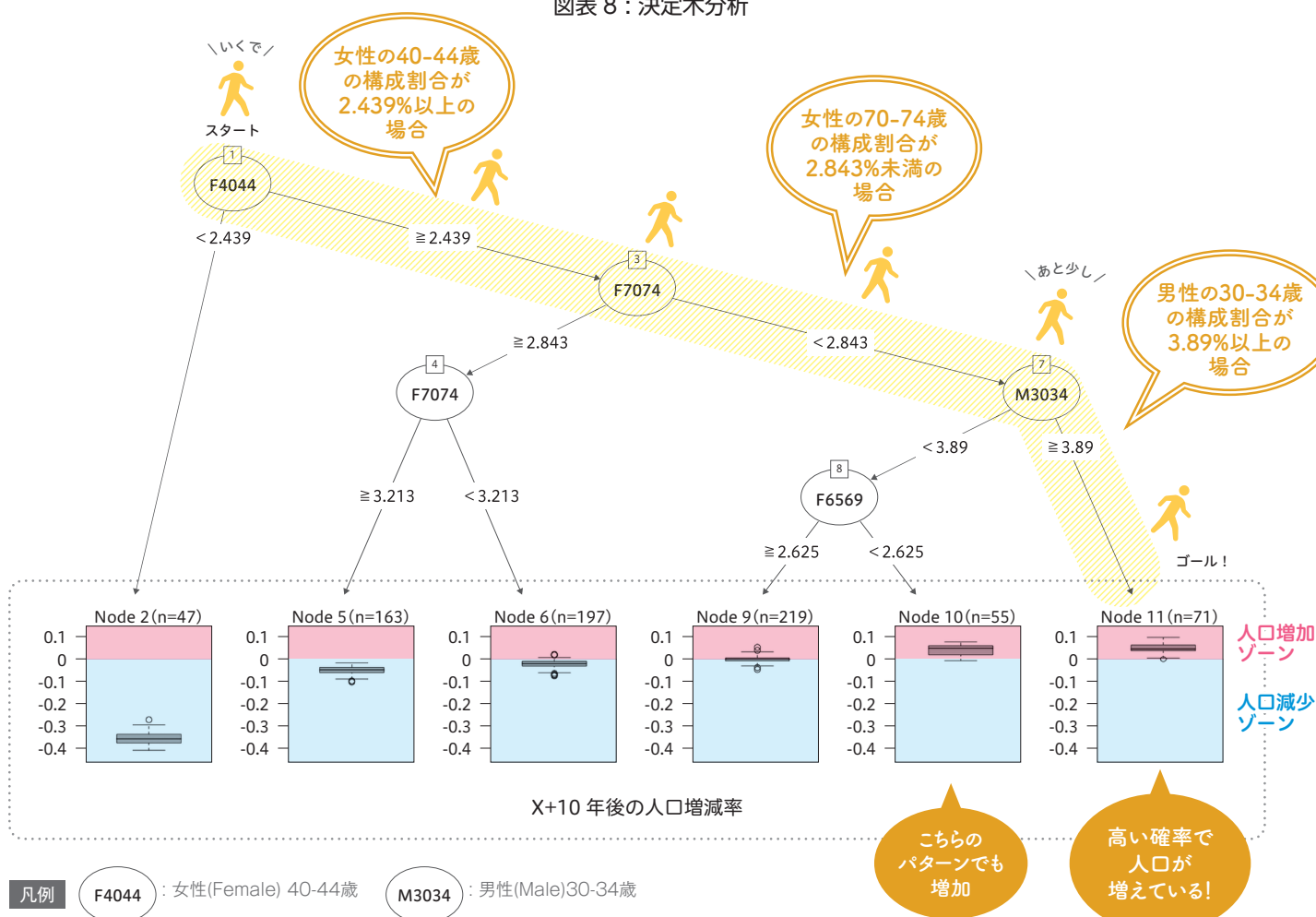
1994年～2019年の「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」の全国都道府県データに対して、AIの分析法の一つ「決定木 (DecisionTree)」を用いると、人口増加に影響を与えている主な要因は、「女性の40-44歳」と「男性の30-34歳」ということがわかります。

これは、子育て世帯であると考えることができ、人口構成の中で子育て世帯が多い地域は、将来の人口増加が期待できるということが示唆されます。

このように、統計は私たちの将来の道しるべとしても様々な情報を与えてくれます。



図表 8 : 決定木分析





渡月橋

お問い合わせ先

京都府政策企画部企画統計課情報分析担当
TEL : 075-414-4483
MAIL : kikakutokei@pref.kyoto.lg.jp



さらに詳しい分析情報は
ホームページから
ご覧いただけます。